

半田から七十年の足跡

Field Exhibition of Photographs in HANDA

CROSSING PATHS

OSAMU MURAI

「半田の街の足跡」より
Photo © OSAMU MURAI

半田の街を巡る写真展 フィールド・ミュージアム
あ

めぐり逢ひ

写真 村井修

[会期] 2016年 9/16日(金) - 10/16日(日) 入場無料

[会場] ① 半田赤レンガ建物 (メイン会場) 9:00-17:00 会期中無休 Tel. 0569-24-7031
② 旧中塋半六邸 10:00-17:00 木曜日休館 Tel. 0569-89-2925
③ 松華堂ギャラリー 10:00-17:00 会期中無休
④ 街かどサロンかめとも (亀崎) 10:00-16:00 木曜日休館 Tel. 0569-77-2186
⑤ 関連企画: キャンナル・アート 会期中の夕刻、運河沿いに写真スライド投影を予定

[主催] 村井修半田写真展実行委員会

[特別協賛] 愛知県半田市 一般財団法人招鶴亭文庫 株式会社竹中工務店 株式会社安井建築設計事務所
株式会社石本建築事務所 NTT都市開発株式会社 株式会社三角屋 株式会社七番組 村井歯科医院
一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

[問合せ先] 半田市教育委員会生涯学習課 Tel. 0569-23-7341 Fax. 0569-23-7629
村井修半田写真展実行委員会・東京事務局メール muraihanda@gmail.com

01 半田赤レンガ建物 <メイン会場>

愛知県半田市榎下町8番地
Tel. 0569-24-7031



明治31年に建設された、旧カプトビール工場。設計は明治を代表する建築家・妻木頼黄（つまきよりなか）。歴史的建築物として2015年に改修され、現在は観光施設として常時公開されています。村井修氏の代表的な写真作品やポスター、半田の写真などを展示する本展のメイン会場。



02 旧中笠半六邸

愛知県半田市中村町1-7
Tel. 0569-89-2925



中笠半六家は、又左衛門家と同じく半左衛門家の分家。江戸から明治にかけて海運業や醸造業で財を築いた半田の富豪。NPO法人半六コロボを中心に敷地900坪の母屋や蔵が維持・再生・活用されています。村井修氏の「石の記憶」シリーズや、初公開の「位相大地」などを展示します。店舗では豆腐懐石や喫茶もご利用いただけます。



03 松華堂 ガラリー

愛知県半田市御幸町103



<御菓子所 松華堂>
江戸時代後期に「松屋」という屋号で南知多に開業。明治30年前半に現在の半田市へ移転して、屋号は「松華堂」となりました。半田市が誇る和菓子の老舗名店。写真は同店東隣のギャラリーで展示します。「パリ 都市の詩学」シリーズなど。



04 街かどサロンかめとも (亀崎)

愛知県半田市亀崎町4-141
Tel. 0569-77-2186



旧呉服店を改修し、地域交流施設としてNPO法人亀崎まちおこしの会が運営しています。亀崎は半田市の北部に位置し、潮風の漂うまち。歴史が息づくまちです。村井修氏の「港町グラフィックス」シリーズを展示します。

05 運河沿いアート<仮>

※画像はイメージです。



キャナル・アート・イベント
<半田運河×ヶ川>

海運が発達した半田では運河（半田運河）に沿ってたくさんの蔵が立ち並びました。現在も水辺の黒塀が大切に継承され、当時の様子を伝えています。会期中、夕暮れ時からスクリーンに写真スライドを投影予定。場所・日時検討中。



2016 9/16 [FRI] -10/16 [SUN] Field Exhibition of Photographs in HANDA

Photo © OSAMU MURAI

CROSSING PATHS あめぐり逢ひ

写真家 村井修 OSAMU MURAI / Photographer

1928年 愛知県半田市生まれ。現・半田高校、現・東京工芸大学卒業（元・東京写真大学専任講師歴任）。建築や彫刻を被写体とした写真家活動を始め東京で独立。小田仁二郎氏、瀬戸内晴美（寂聴）氏らによる同人誌「Z」の表紙（写真）を担当する。新旧東京都庁舎ほか一連の丹下健三氏の建築、白井晟一氏の作品など数多くの建物を撮影し、80年代には数年間に及ぶ京都迎賓館の撮影を手掛けた。シドニー・オペラハウス、関西空港、中部国際空港セントレア、東京駅など時代を代表する建物の写真を撮影・発表している。彫刻分野では、佐藤忠良氏、流政之氏、澄川喜一氏らの作品撮影。米タイムライフ社の取材にもかかわらず、雑誌「LIFE」のテーマ「家族」日本編を担当するなど活躍は国内外、多岐に及ぶ。

*日本建築学会文化賞、日本写真家協会功労賞、東川賞を受賞。1人の写真家の眼を通した長期取材と著作「世界の広場と彫刻」により毎日文化特別賞受賞。2014年にはヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞もグループ受賞した。

本展開催時に88歳。現役として写真家活動を続けている。

<過去の主な展覧会>

「世界の広場と彫刻」米ハーバード大学、イタリアのローマ、テラモほか日本国内巡回展。「石の記憶」ニューヨーク、東京展。

「建築へ写真へ」韓国ソウルほか国内巡回展。「パリ・都市の詩学」東京ほか国内巡回展。「都市の記憶」東京展。

「シドニーオペラハウスの光と影」東京・大阪展。など。各展覧会とも写真集を発表。写真掲載書籍、出版書籍多数。

